



みどりの東北



写真2 合成フェロモンを用いた試験



写真1 薬剤注入の様子

（の確立の実用化に向け取り組んでいるところです。）
 終わりに、より効率的・効果的な被害対策を推進するため、被害の先端地域において、ハザードマップを活用し、重点的に巡視を行い被害の早期発見に努めるとともに、県・地元自治体ならびにボランティア団体等との連携を強化し、適切に防除事業を実施していきたいと考えています。

mini column

「へえ〜、そうなんだ!」

早池峰山のお花畑

ハヤチネウスユキソウ(キク科) ナンブイヌナズナ(アブラナ科)

オサバグサ(ケシ科) ミヤマシオガマ(ゴマノハグサ科)

岩手北部森林管理署 技術専門官

松尾 亨

Tooru Matsuo

梅 雨の時期白いガスのなかから姿を現す早池峰は、遠野物語のイメージと相まって幻想的な雰囲気を漂わせ、高山植物が露に濡れる美しい山でもあります。

固有種のハヤチネウスユキソウは、アルプスのエーデルワイスに似ていることで有名ですが、白い綿毛の苞葉が星形に見える中心部の雄花が黄色くなります。ナンブイヌナズナは、砂礫地に群生し、黄色の絨毯のように広がりを見せ、岩手の地方名「南部」がつけられた種です。

オサバグサは、花崗岩の小田越登山口周辺と薬師岳に分布し、アオモリドマツの樹林下で総状の白い花を釣り鐘状に

つめます。葉の形も羊歯のシシガシラに似て一興です。

葉の裂け方が細かく、ニンジンに似ているミヤマシオガマは、花の上唇が舟形でピンクの美しい花です。名前の由良が「花もいいが、葉までいい」→「浜でいい」に転訛し、浜でいいのは「塩竈」となったと言われています。

北上山地の中央部にある早池峰は、古くから霊峰として崇められるとともに、近年は蛇紋岩特有の固有植物の分布地として、植物愛好者の集まる名山です。北東北の梅雨時は高山植物の咲き誇る季節でもあります。ホワイトアウトのなかからピンクやイエローのお花畑を旅するのもいいですよ。



ハヤチネウスユキソウ



ナンブイヌナズナ



オサバグサ



ミヤマシオガマ